

[2025]九州大学情報統括本部年報 : 2025年度

<https://hdl.handle.net/2324/7441036>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2025, pp.1-, 2026-09-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第8章 ISMS運用事業室

8.1 ISMS の継続的な運用

(1) 年度計画に基づく計画の遂行

① 情報セキュリティリスクアセスメントの実施

情報セキュリティリスクアセスメントを実施し、適用範囲内の事業室・事務部等で管理される情報資産が保有する情報セキュリティ上のリスク評価を行った。

(実施期間：2025年7月22日～9月19日)

昨年度のISMSサーベイランス審査・移行審査での指摘事項を踏まえ、「情報資産一覧表」に「供給者が提供するサービスの有無」の項目を追加し、リスク値評価の見直しを行った。

実施結果として、本学が定める情報セキュリティリスク受容基準値を超える情報資産を2件確認し、保有するリスクに対応するためのリスク対応計画書を作成した。

② 内部監査の実施

ISMSが適切に機能していることを確認するため、内部監査員を選定し、適用範囲に対するISMS内部監査を実施した。なお、不適合事項を含む発見事項はなかった。

(実施期間：2025年10月～11月)

③ 適用範囲の文書見直し等説明会の実施

ISMS適用範囲構成員に対し、主にISMSマニュアルを中心としたISMS関連文書の変更点等について、オンライン研修システムを利用した説明会を開催した。(2025年8月実施)

④ 内部監査員養成研修の実施

内部監査員養成研修を実施し、新たに5名が内部監査員有資格者として追加された。なお、情報セキュリティ監査における連携を目的に福岡教育大学から1名が研修に参加した。(開催日：2025年9月9日)

(2) 課題の継続的な検討、改善

他事業室より提出された不適合・是正処置報告書(3件)においては是正処置対応を行った。

また課題管理において、第三者認証機関によるISMS認証の継続審査、内部監査及びマネジメントレビューでの指摘事項による対応のほか、全221課題(2024年度からの継続課題を含む)について、見直しや改善に向けた検討を行い、ISMSマニュアル改訂やリスクアセスメント実施手順の見直し対応等221課題について対応を完了した。

(3) ISMS 文書見直し

2025年3月から6月にかけて、以下のISMS文書について記載内容の改訂を行い7月に施行した。

- ・ ISMSマニュアル
- ・ 組織のセキュリティに関する規程
- ・ 事業従事者に関する規程
- ・ サーバ室等の環境に係る指針
- ・ 情報セキュリティ目的及び目的を達成するための計画
- ・ 情報資産一覧表

- ・ 機密保持契約の運用に関する規程・規範
- ・ 装置のセキュリティ管理に関する規程・規範
- ・ アクセス制御に関する規定・規範
- ・ 適用法令一覧表
- ・ 情報関係法令等相関図

(4) 第三者認証機関による ISMS 認証のサーベイランス審査

第三者認証機関（BSIグループジャパン株式会社）によるISMS認証のサーベイランス審査を受審した。

（2026年2月17日～19日実施）

審査の結果、基準に準拠しており、認証継続となった。

8.2 情報セキュリティ監査

病院地区のメディカルインフォメーションセンター（MIC）をはじめとする学内の複数部局に対して情報セキュリティ監査を実施した結果、重大な違反や課題等の問題点は発見されなかった。実施結果はCIO及びCISOに報告し、監事及び監査室と情報を共有した。（実施期間：2025年6月～2026年3月）